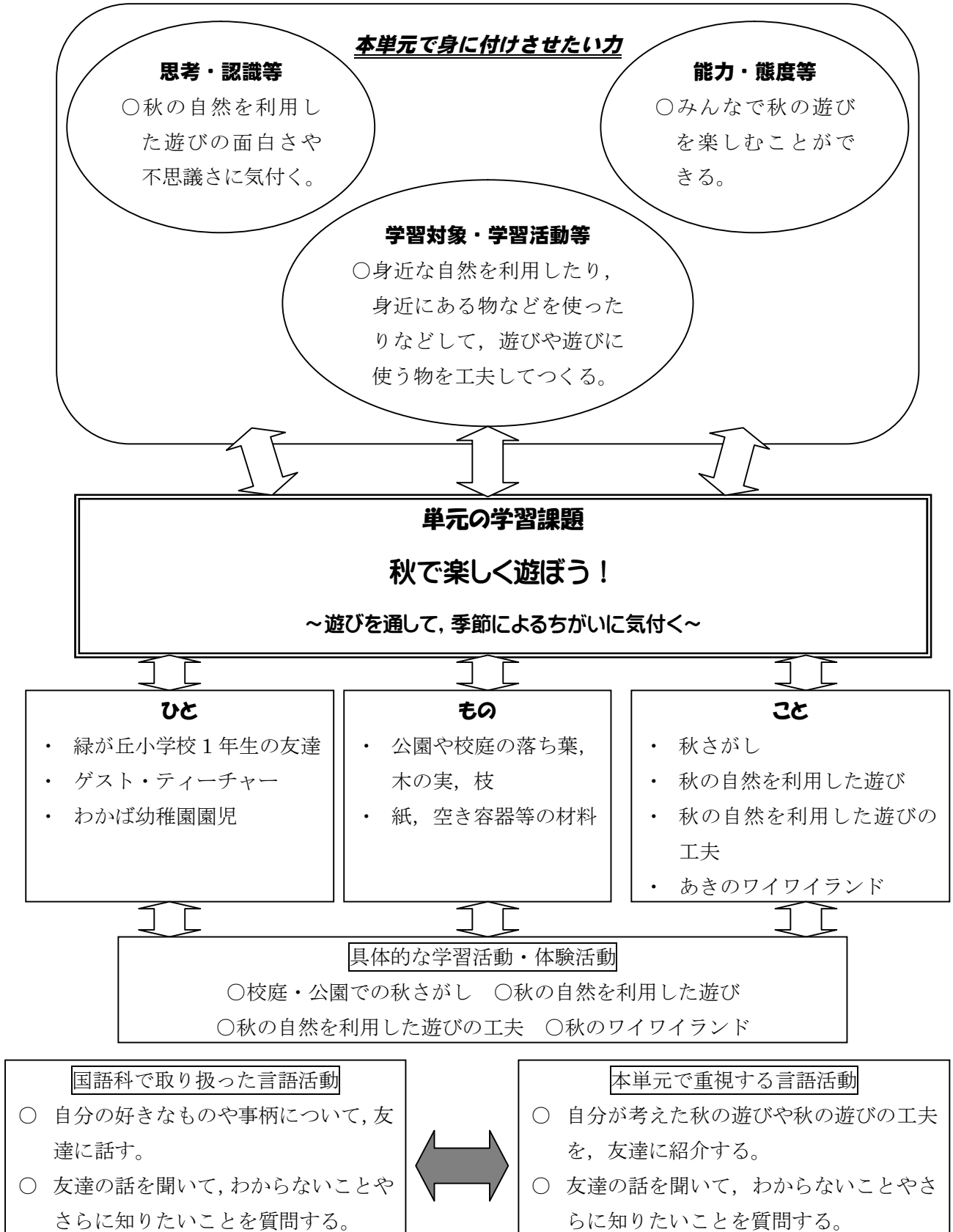


学年	単元名	児童	場所	指導者
1年	すいすいさわやか きもちがいいね	旭川市立緑が丘小学校 1年1組 25名	1年1組 校庭 神陵公園 西御料公園 神楽岡公園	松田 隆之

1 本単元で身に付けさせたい力と学習対象の関連図



2 単元について

(1) 内容との関わり

本単元は学習指導要領で示されている内容(5)(6)に関連し、内容(6)を重点とした単元である。身近な自然を観察し、自然の物を使った遊びを通して、季節の変化を体全体で感じ取り、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたり、みんなで遊ぶことを楽しんだりできるよう設定したものである。

秋の自然と触れ合うことで、いつも目にしている校庭や公園の草花や樹木の様子が、季節と共に変化していることに気付かせる。そして、変化していく自然物を使って、遊びを楽しんだり、遊びを工夫したりすることで、秋の自然からもいろいろな遊びができることに気付かせ、遊びの面白さや自然の不思議さを感じ取らせていくことを目指している。



(2) 児童の実態

本学級の児童は、しっかりと人の話を聞くことができ、落ち着いた学校生活を送っている。穏やかでのんびりしている児童が多く、初めて行う活動に対してはクラス全体としてやや消極的である。

生活科の学習では、教室を離れて学習することが好きな子が多く見られる。1学期の「ぼかぼかのはらであそぼうよ」では、夏の草花や樹木の観察を行ったが、どの児童も細かいところまで観察し、真剣な表情で活動していた。また、校庭や公園で草花遊びを行い、普段遊んでいる場所にある草花からもいろいろな遊びができることに気づき、遊びの楽しさを味わった。



(3) 指導について

校庭や学校に隣接している神陵公園をフィールドとする活動は、季節による違いを感じさせることをねらいとしている。身近な自然との触れ合いの場を、子どもたちが普段遊んでいる校庭や公園に設定し、時間を変えて同じ場所に連れて行くことで、子どもたちは季節の違いを比較しながら、様々な気づきをもつことができる。さらに、活動場所を学校から少し離れた2つの公園に広げ、色々な場所に存在する秋に触れさせ、自然とかわる活動を通して、四季の変化を体全体で感じ取らせる。

また、自然に対する興味・関心を高めるために、「生活科ビンゴ」を行う。「生活科ビンゴ」で子どもたちの興味・関心を自然物へと向けさせ、「落ち葉や木の実で遊んでみたい!」という気持ちを喚起させたい。さらに、落ち葉や木の実を使って遊ぶ時間を十分に確保し、遊びを考えたり遊びを工夫したりする活動を通して、遊びの多様性に気付かせ、自然と関わって遊ぶことの楽しさを味わわせる。

そして、自然物で思う存分遊んだ後に、身近な材料を加えて遊びをより楽しくする工夫を考える活動を行い、「遊びを工夫したら、もっと楽しくなった!」ということを実感させる。

さらに、地域の幼稚園児を「秋のワイワイランド」に招待する場を設定し、普段「してもら側」になることが多い1年生に、達成感を味わわせ、自分の成長を実感させる。また、招待される側の気持ちを考え、接客の仕方・遊び方・遊び道具・装飾などを工夫することで、遊びがもっと楽しくなることに気付かせる。

3 単元の目標

- 公園や野原, 学校の周りで秋を探したり調べたりする活動を通して, 秋の樹木や草花, 虫などが夏の頃とは違って来たことや, それらを使って遊ぶことの楽しさに気付くことができるようにする。
- 友達と協力していろいろなものを作ったり遊んだりして, 季節の変化に関心をもつことができる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
秋を探したり調べたりする活動を通して季節の変化に関心を持ち, みんなで楽しく遊ぼうとしている。	落ち葉や木の実などの素材の特徴を生かした遊びを考えたり, 工夫したりして, それをすなおに表現している。	秋の遊びを通して, 季節の変化や自然のものを利用して友達と遊ぶと楽しいことに気付いている。

(2) 学習活動における具体的評価規準

次	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
第1次	①季節の変化に関心を持ち, 校庭や公園にある落ち葉や木の実を使った遊びを楽しんでいる。	①落ち葉や木の実などの素材の特徴を生かした遊びを考え, 考えた遊びを絵にしたり, 紹介したりしている。	①季節による自然の変化や落ち葉や木の実で色々な遊びができることに気付いている。
第2次	②落ち葉や木の実を使った遊びを工夫したり発展させたりして, 遊びを楽しんでいる。	②落ち葉や木の実などを使った遊びの工夫を考え, 考えた遊びを絵にしたり, 紹介したりしている。	②落ち葉や木の実を使った遊びのおもしろさや友達と遊ぶと楽しいことに気付いている。
第3次	③招待する側の立場にたち, 友達と協力しながら, 進んで自分の仕事をやり遂げようとしている。	③招待される側の気持ちを考え, 接客の仕方・遊び方・遊び道具・装飾などを工夫している。	③幼稚園児との関わりを通して, 色々な工夫をすることで, 遊びがもっと楽しくなることに気付いている。

5 単元の指導計画(21時間)

次	時間	学習の流れ	○主な学習活動	◇教師の指導 ◆評価
第一次 おちばや 木のみで あそぼう⑦	1	対象との出会い 活動への見通し	○ 校庭を探検し,秋を見つける。 ・「はっぱのいろがかわってる。」 ・「みどりのまつぼっくりまだあるかな」	◇ 色や手触りなど,春や夏との違いに目を向けさせる。 ◆ア①
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <h3 style="margin: 0;">あきを みつけて みんなで あそぼう!</h3> </div>			
	2,3	追求活動	○ 公園探検① 神陵公園に行き,‘せい かつかビンゴ’をしたり,落ち葉や 木の実を使ったりして自由に遊 ぶ。 ・「おちばのシャワーだよ」 ・「まつぼっくりをたくさんあつめるぞ」 ○ 自分が行った遊びを探検カードに 書く。 ・おちばであそんでたのしかったよ ・まつぼっくりをうえになげてみたよ ・はっぱがカラカラだったよ	◇ 素材そのもので思いっきり遊 ばせる。 ◆ ア①,ウ① ◇ 絵や文に書かせる<探検カ ード>。 ◆ イ①
	4,5,6		○ 公園探検② 西御料公園に行き,‘せ いかつかビンゴ’をしたり,落ち葉 や木の実を使ったりして自由に遊 ぶ。 ・「いろいろないろのはっぱがあるね」 ・「たくさんきのみをあつめておみせ をひらくぞ」 ○ 自分が行った遊びを探検カードに 書く。 ・このまえとちがうあそびをしたよ ・おちばでえをかいたよ	◇ 素材そのもので思いっきり遊 ばせる。 ◆ ア①,ウ① ◇ 絵や文に書かせる.<探検カ ード> ◆ イ①
7 時	活動のまとめ	○ 学習シートをもとに,自分が行った 秋遊びを紹介する。 ・「えだでちゃんばらごっこをしました」 ・「はっぱでやまをつくったよ」	◇ よい気付きを取り上げ,全体 に広める。 ◇ ゲスト・ティーチャーの活用。 ◆イ①,ウ①	
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <h3 style="margin: 0;">あきや あたらしいあそびを たくさん みつけたね!</h3> </div>				

第2次 くらしと あそび⑧	8	対象との出会い 活動への見通し	おもちゃを つくって あそぼう!	
			○遊びやつくりたいものの計画をたてる。 ・「おおきい葉っぱをあつめてくるぞ」 ・「ぼくはがっきをつくりたいな」 ・「なにかゲームをつくれなかな」	◇計画をたてることができない子には、サンプルを見せる。 ◇絵や文に書かせる<計画カード>。 ◆ア②, イ②
	9, 10, 11	追求活動	○ 公園探検③ 神楽岡公園に行き、秋の葉や木の実を探して遊んだり集めたりする。 ・「よし、どんぐりをみつけるぞ」 ・「このはっぱ、らいおんのかおにつかえそうだ。」 ・「このきのみをつかってがっきをつくるぞ」	◇なかなか材料を集められない子と一緒に探す。 ◆ア②, ウ②
	12, 13	追求活動	○友達と協力して、つくったり遊んだりする。 ・「かざりをつくってみたよ」 ・「○○くんのあそびおもしろそうだね」 ・「かみコップときのみでおもちゃをつくったよ」	◇子どもたちが活動しやすい環境構成を整える。 ◇遊びが進まない子への支援をする。 ◆ア②, ウ②
14, 15	まとめ	○自分の遊んだ遊びを紹介し合う。 ・「ぼくはきのみとかみコップをつかっておもちゃをつくりました」 ・「ひもときのみでアクセサリーをつくりました」 ○自分がつくった遊び以外のものを体験する。 ・「こうやってあそぶんだよ」 ・「このあそびおもしろいね」 ・「このえかわいいね」	◇自分が行った遊び以外にも関心が向くように、子どもたちの発表を全体に広げる。 ◆イ②	
			おもちゃで たのしく あそべたね!	

第3次 あそびを つなぐ つなぐ	16	対象との出会い 活動への見通し	ようちえんの ともだちに あきのあそびを しょうかいしよう!	
			○ ‘あきのワイワイランド’に、幼稚園 児を招待する計画を立てる。 ・「ようちえんのともだちにたのしんで もらいたいな」 ・「ルールをちゃんときめよう」 ・「かざりもかわいくしたいな」	◇意欲が高まるように活動構成 を工夫する。 ◇絵や文に書かせる<ワイワイ ランドカード>。 ◆ア③, イ③
	17, 18	追求活動	○‘あきのワイワイランド’をつくる。 ・「ようちえんのともだちにはむずかし いかもしれないな」 ・「このえはどこにはろうかな。」	◇友達とうまく関われない子へ の支援。 ◆ア③, イ③
	19, 20	追求活動	○‘あきのワイワイランド’に幼稚園の友 達を招待する。 ・「ルールをせつめいします」 ・「うまくやるコツをおしえます」	◇活動に参加できずにいる子へ の支援。 ◆ア③, イ③
	21	まとめ	○活動のまとめを行う。 ・「ていねいにせつめいしたら、わかっ てくれたよ」 ・「たのしんでゲームをしていたよ。が んばったかいがあったね。」 ・「くふうするとたのしいね」	◇絵や文に書かせる<ワイワイ ランドカード>。 ◆ウ③
			あきのあそびは たのしいね!	

5 本時の学習

(1) 本時の目標

秋の遊びを振り返り、自分が考えた遊びについて表現する。

(2) 本時の展開【第1次 21時間扱いの7時間目】

主な学習活動	◇教師の働きかけ ◆評価
1 数枚の写真を見て、公園探検を想起する。	◇写真を提示する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <h3 style="margin: 0;">あきのあそびを しょうかいしよう！</h3> </div>	
2 本時の学習内容を確認する。	
3 自分が見つけた秋や新しい遊びを紹介する。	◇見取りをもとに指名する。 ◇子どもから ・どうしてその遊びを思いついたのか ・子どもたちの遊んでいた時の心情 ・秋の物の様子(色, 手触り) などを聞き出す。 ◇具体物を実際に用意しておき, その場で実演させる(適宜)。 ◆イ① 気付いたことを表現できているか。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <h3 style="margin: 0;">あきのあそびを たくさん みつけたね！</h3> </div>	
4 ゲスト・ティーチャーによる秋の遊びのプレゼンテーション(①子どもたちが思いつかないような②通常のフィールドにはない自然物を使った③身近にある材料を使った)を見る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ やじろべえ ・ けん玉 ・ アクセサリー 	◇ゲスト・ティーチャーは, 子どもたちが思いもつかないような遊びを紹介することによって, 次の活動へのあらたな意欲を喚起させる。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <h3 style="margin: 0;">おもちゃを つくって あそぼう！</h3> </div>	

(3) 本時の評価規準

A:秋の遊びを振り返り, 自分が考えた遊びについて, その遊びの特徴や工夫したところを踏まえながら表現している。

B:秋の遊びを振り返り, 自分が考えた遊びについて, 自分なりの方法で表現している。

努力を要する児童への支援: 秋の遊びを想起できない子に対して, 具体物や写真などを提示する。

(4) 板書計画

あきのあそびをしょうかいしよう!

1つ	あわせて…	
<ul style="list-style-type: none">・ えだでスキーをしたよ。・ つるでブランコをしたよ。・ まつぼっくりをなげてはなびにしたよ。・ えだをぶたのしっぽにしたよ。	<ul style="list-style-type: none">・ まつぼっくりにえだをさしてうさぎをつくったよ。・ 木にまつぼっくりをぶつけてまとあてゲームをしたよ。・ やきにくやさんごっこをしたよ。	<ul style="list-style-type: none">・ えだとはでおでんやさんをひらいた。・ えだとはでやきとりをつくったよ。・ くさときのかできのこごはんをつくったよ。

あきのあそびをたくさんみつけたね! **おもちゃをつかってあそぼう!**